

# 24年度決算に対する 総括質問(要旨)

(答弁者は各担当部長)

## 石井 勉 (自民党)

**地域問題の解消をめざして**  
**問** 東武練馬駅の踏切の危険性について、しっかり認識を答練馬区と調整しながら安全な踏切になるよう努める。  
**問** 補助29号線の事業化に向けて今後の課題は。  
**答** 33年度供用開始に向けて、事業認可など必要な手続きを進める。  
**2014女子レスリングワールドカップ開催に向けて**  
**問** 区内で世界レベルのスポーツ大会が開催された実績は。

## 大野はるひこ (自民党)

**集団回収資源の持ち去りを防止するために**  
**問** 区においても罰則条例を制定して、不法な集団回収の持ち去り防止対策をとるべき。  
**答** 罰則条例を制定した他区によれば、告発に至っても持ち去りは後を絶たないとのこと。23区全体でGPSを活用した持ち去り防止策を実施していく。  
**コミュニティバスを問う**  
**問** 導入要望の多い桜川および大谷口地域も今後の実験運行路線に含めて導入の検討を。  
**答** 実現の可能性については費用対効果なども視野に入れて25年度に検討する。  
**都立城北中央公園内の陸上競技場の有効活用を求めて**  
**問** 都立城北中央公園内の陸上競技場を整備してサッカーができるよう、都に要望を。  
**答** 趣旨を踏まえ、機会を捉えて都に要望を伝える。  
**子どもの体力向上のために**  
**問** 教育委員会事務局の組織の中に体育課の設置を。  
**答** 27年度の教育支援センター開設に合わせて組織の見直しを検討しており、体育関係

## 菊田 順一 (自民党)

**未来創造プランについて問う**  
**問** 集中と選択で取り組めば1年で達成できるような事業は前倒しするなど、スピード感を持った事業の執行を。  
**答** 全体の財政フレームの中でバランスが取れるように、積極的に取り組んでいく。  
**ユスリカ駆除経費の見直しを**  
**問** ユスリカ駆除経費については、近年におけるユスリカ異常発生への減少に応じて見直しを強力に進めるべき。  
**答** 環境部門との連携も図りながら、さらに対策経費の削減に努めていく。  
**在宅医療連携拠点事業の継続実施を**  
**問** 在宅医療連携拠点事業について、26年度も継続して実施できるのか。  
**答** 現在、都が在宅医療推進区市町村支援事業を計画しており、区が本事業に申請して補助金を確保することで在宅組織について必要があれば、この見直しの中で検討する。

## 小林 公彦 (公明党)

**老朽建築物対策について問う**  
**問** 他自治体では、若年層や子育て世帯の定住対策と連動して空き家対策を実施している。区の対策は。  
**答** 空き家実態調査で、活用できそうな空き家の実態を把握し、活用策を検討していく。  
**問** 老朽家屋実態調査の内容と調査後の対策は。  
**答** 現地に調査員を派遣し、25年度は環状7号線以内、26年度は残りの地域を目標により調査する。その後、解体や改修の際の安全対策などについて啓発、指導を行う。  
**貧困の連鎖の解消策を問う**  
**問** 生活保護受給世帯の貧困の連鎖解消には高校進学が重要。高校進学者増への施策は。  
**答** 進学塾や集中講座などに

## しば佳代子 (公明党)

**待機児童対策について問う**  
**問** 待機児童数に対し定員の増員数が少ない。待機児童ロにするためにも、最低でも約300人の増員が必要ではないか。  
**答** 300人は指標にはなるが、今回の対策と保育需要率を総合的に考え対応していく。  
**問** 区民サービスの向上や安心できる子育てのためにも、保育コンシェルジュの導入を。  
**答** 26年度早々には、より利用者本位のサービスを展開していきたい。  
**ホタル生態環境館の継続を**  
**問** 環境館の事業は全国自治体の中でもオンリーワンの誇れる取組み。展示に重点を置いた施設として事業継続を。  
**答** 施設のあり方検討の中で検討していく。  
**防災パンダについて問う**  
**問** 聴覚障がい者用防災パンダを福祉事務所で配付せよ。  
**答** 福祉事務所で配付し、広報やホームページでも配付について周知する。

## かいべとも子 (公明党)

**休日医科診療対応薬局への補助について問う**  
**問** 休日医科診療を行う場合、調剤薬局も終了時間を合わせた対応が必要。対応状況は。  
**答** 板橋区薬剤師会が自主的に当番制で対応している。  
**問** 現在、休日医科診療対応薬局に区から補助が出ていない。医療体制の充実には、円滑な医薬品供給体制の確保が不可欠。早急に補助をすべき。  
**答** 他区の実況や財政状況などを勘案しつつ、休日調剤薬局事業の実施を検討していく。  
**新しいキッズについて問う**  
**問** 人員削減による行政サービスの質の低下はないのか。  
**答** 活動場所のそれぞれに目が行き届くよう人員配置しているため、質の低下はない。  
**問** 1・2年生の安全な居場所

## かなざき文子 (共産党)

**すべての子どもたちの発達・成長を育む教育を**  
**問** 区議団で学校を視察した。固定級に情報機器の整備を。  
**答** 計画的に整備をしていく。  
**問** 学習指導講師、介添員を増員すべき。  
**答** 学習指導講師の増員は検討する。介添員は必要な人員を配置している。  
**問** 子どもたちの発達・成長を育む教育費に。  
**答** 優先分野に財源配分する必要がある。  
**問** 国の介護保険制度見直しの動きに対し、必要な介護が保障できる制度の要望を。  
**答** 国の動向を注視し、課題を検討後、国に要望していく。  
**障害者が地域で生活できる施策の充実を**  
**問** 都健康長寿医療センターの跡地に障害者施設を。  
**答** 都に整備の申入れをした。

## 竹内 愛 (共産党)

**生活困窮者支援について問う**  
**問** 生活困窮者の早期発見のため、ライフライン事業者と連携を。  
**答** 水道事業者との連携を23区で協議中。ほかの事業者とも協議の場を設けていきたい。  
**UR賃貸の家賃値上げ中止を**  
**問** URは家賃値上げに反対を。  
**答** 家賃改定が居住者の過大な負担にならないよう、都市再生機構に配慮を求めていく。  
**学習クラブ制度廃止の撤回を**  
**問** 新しいキッズでは、台風などによる学校休業日の就労家庭受入れ、スポットでの5時以降の利用はできるのか。  
**答** 就労家庭は受け入れる。スポット利用はできない。  
**問** 要支援児対応に就労要件を残した理由は。  
**答** 現行の学習クラブの考え方を継続している。  
**次期保育計画について**  
**問** 区立保育園は要支援児の保育など重要な役割があり、今後、民営化はやるべき。  
**答** 保育需要の動向を注視しながら民営化を進める。  
**区の子算のあり方について**  
**問** 一律の対応ではなく、区民の命を守る姿勢が必要。  
**答** 財源不足が見込まれるため、予算削減目標額を設定。

## 佐藤としのぶ (民主党)

**芝浦工大付属中・高校移転後の跡地活用について問う**  
**問** 移転後の校舎、校庭、屋内プールを近隣の小中学校や住民で活用したらどうか。  
**答** 学校法人の意向を確認するなど情報収集に努める。  
**旧高七小跡地周辺の開発は民間アイデアの活用を**  
**問** 跡地周辺開発の公開プレゼンテーションをして区民の意見聴取、民活導入をしては。  
**答** 本格的な跡地活用には民間活力の導入が不可欠である。  
**集合住宅の防災対策を問う**  
**問** 集合住宅の備蓄物資の基準を区が設定すべき。  
**答** 集合住宅向け防災パンフレットを作成し、管理組合などに配付する。  
**公共施設の有効活用について**  
**問** 屋外体育施設は年末年始の休業日が8日間。利用者がいる限り、利用に供すべき。  
**答** 26年度から7日間に短縮。  
**問** 区立美術館にある平山郁夫画伯、佐藤太清画伯、狩野派などの収蔵品をPR、紹介展示するコーナーを本庁舎に。  
**答** 南館の改築に伴い、展示可能な作品を公開したい。  
**問** 年末年始も公園施設を散策できるようにゲートを開けよ。  
**答** 赤塚植物園は年末年始を6日間に短縮。他の公園も検討を続け、可能なものは対応。  
**問** こども動物園は正月休みも親子連れで動物に触れ合う機会を。  
**答** 年末年始は6日間に短縮。

## すえよし不二夫 (民主党)

**親切行政をめざして**  
**問** 兄弟が別々の保育園に通っている世帯はできる限り同じ保育園に入れるようにせよ。  
**答** 親切行政の観点から、今後検討していく。  
**福島県南相馬市のために**  
**問** 学校で防波堤に植樹する苗を育てる活動をしてみては。  
**答** 子どもの情操を育てる面で効果が期待できると考える。

## 長瀬 達也 (合同クラブ)

**不正請求を防止するために**  
**問** 介護事業者による介護給付費の不正請求には厳格な対処を求める。区の考えは。  
**答** 不正を見逃さないという使命感を持って確認している。  
**窓口業務の委託化を求めて**  
**問** 赤塚支所、区民事務所の窓口業務の委託化も検討を。  
**答** 出先機関についても検討の必要があると考えている。

## 高橋 正憲 (合同クラブ)

**保育料の格差是正を**  
**問** 認証保育所と認可保育所では保育料に格差がある。認証保育所に通う場合の助成金額のさらなる増額を。  
**答** 財政状況などを総合的に勘案し引き続き検討していく。

## 松島 道昌 (みんの党)

**産業活力UPについて問う**  
**問** 産業振興には、人的資源の使い方が重要である。外部専門家を登用できるのか。  
**答** 人事部門と相談したうえで、産業振興公社のプロパー職員を増やしていきたい。

## 五十嵐 やす子 (生活者ネット)

**子宮頸がんワクチンを問う**  
**問** 接種勧奨差控え後も接種して副反応が出た人がいる。副反応のリスクについて周知徹底を。  
**答** 広報、リーフレットなどを活用し情報提供する。

## 井上 温子 (無所属)

**保育料の格差是正を**  
**問** 認証保育所と認可保育所では保育料に格差がある。認証保育所に通う場合の助成金額のさらなる増額を。  
**答** 財政状況などを総合的に勘案し引き続き検討していく。